



AIが浸透する社会の中で、わたしたちが主役であるために

2026年の節分は2月3日です。方角は「南南東」だそうです。そして、翌日（4日）は立春となります。春に備えて、新しい命が動き出す準備が始まりますが、前々週から寒波到来です。この地域でもわずかに積雪が見られるときもあり、気温が低下し、校庭のビオトープにも氷が張りました。

久しぶりに厳しい寒さに接する機会となりましたが、体調は大丈夫でしょうか・・・

○人工知能とのかかわりの中で

さて、加速度的に変化していく社会の中で、存在感が際立ってきているのが「人工知能」いわゆる生成AIです。今では、日常生活の中にしっかりと入ってきています。活用している方も増えてきたのではないでしょうか。意図的に活用しようとしなくとも、グーグルやヤフーなどの検索機能を使ったとき、検索結果の始めにAIの文面がでてくるようになりました。AIでは、何かを知りたいときや文章や挿絵を作成したい時などに活用することが多いかもしれません。中には、お悩み相談をAIにしている、ということもあります。悩みのある方に寄り添って、受け止めながら相談に乗ってくれるようで、とても居心地がよくなる、というようなことを話しておられました。思い描いた答えや文章、それも瞬時に作成してくれるとなると、活用しない手はないかもしれません。

ただ、AIはゼロから一を創り出すことはできません。また、前例のない問い合わせには、正しく答えることができません。そして、何より、AIは自分では生まれません、人によって作り出されます。ただ、作られたものは、人間を超えていくことがあるかもしれません。少なくとも、資料を整理する能力や多くの資料からヒントとなる内容を探し出す力、与えられたテーマや課題から答えを導き出すことは、ずっと人間より早く、整理して提案してきます。とても便利で、上手く活用できれば、効率よく仕事や作業ができ、時間の短縮につながっていくのでしょうか。



○AIは万全で万能ではないことを

先日、「行政の効率化を進めようとAIを導入したところ、深刻な人権侵害を招いた」という新聞記事がありました。また、「AIが同僚の仕事を増やし、企業に巨額の経済的損失を与える」という記事にも出会いました。

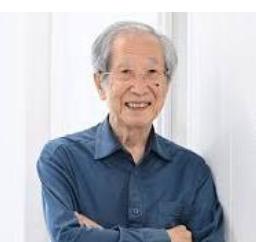
AIに偏見や差別を含むデータを学習させれば、AIからの結果にはバイアス（偏り）がかかるべきです。だから、出されたAIの内容をしっかりと吟味する必要があります。また、会議の議事録をAIに整理させると、提出された議事録の言葉を拾い上げ、端的にまとめますが、どんな議事を経て結論に至ったのかが判然としない、出席者の意図や思いまでまとめることはできません。だから、この会議のポイントとなることや傾向などを文字化して伝える必要があります。そのため、会議の出席者から再度聞き取りを行って、まとめていかなければならず、その会議資料を受け取ったものに膨大な仕事が舞い込んでくる、というようなことがありました。その記事には、AIは「博識ではあるが経験ゼロの新人みたいなものと考えよ」「感情的でない自信満々の新人社員」とも表現されていました。

○AIを活用する私たちに課せられてくる力とは

AIの仕事の出来は、プロンプト（指示）を出す側の力で変わります。指示や質問をしないとAIは働きださない。その指示や質問の精度が成果の質を左右するということなのでしょう。そうなると、ますます我々の力、AIを使用する側の言葉の力が問われることとなるのではないでしょうか。

また、前述のように、AIが出来的た答えを正しいかどうか見極めることができる力が問われます。しっかりと読み解く力がないと、間違った考えを受け止め、混乱することにつながります。そう考える、AIを活用するには、質問する力や深く考える力が必要で、筋道立てて論理的に考える「ロジカルシンキング」や情報をうのみにせず批判的な視点をもつ「クリティカルシンキング」の育成が重要となってくると思われます。

実は、それが、今、教育の中で育みたい力と考え取り組んでいることです。学習の中で大切にしようとしている言葉の力を核として、「対話力」「深い学び」「思考力」という点の育成と「人権感覚」にこだわっていることです。それが、学校教育目標の「仲間と共に、よりよい社会を創り出す子ども」の育成につながります。



AIの基礎となる人工神経回路の学習理論を築いた数理工学者の甘利俊一さんは「答えをうのみにせず自分の頭で考えることの楽しさや、人によって考え方方が違うということを子どものころから養うことが必要だ」と言っています。AIはあくまでも道具です。主役は人間である私たち。主役がしっかりとした言葉の力、正しい人権感覚、コミュニケーション力をもちあわせていかないと、混乱した社会になってくるのはないでしょうか。

言葉に接する機会や言葉と向き合う時間とともに、人権意識の問い直しや自らの人権感覚と向き合う機会、人とのつながりを楽しむ機会などを大人も子どもも大切にしていきたいと思います。

2月行事予定

2月より完全下校の時刻が16:30に
戻ります。(2月～10月末)

日	曜日	学校・地域行事	保 健	部活
1	日			
2	月	朝会 2年生お店訪問(イトマン) 6年生京キッズ会議 15:45～		
3	火	第3回計算名人大会 2年生お店訪問(産直広場) 1年生幼保小架け橋交流会 10:00～		
4	水	5年生音楽鑑賞教室 12:30～16:00		陸上・卓球・バレー ボール
5	木	なかよし学級小さな巨匠展見学 2年生お店訪問(セブンイレブン・ガスト)		
6	金	にこにこタイム		
7	土			
8	日	京キッズRUN 衆議院議員選挙		
9	月	委員会活動		
10	火	口座振替日 2年生お店訪問(牛ヶ瀬保育園) 読み聞かせ(図書委員)		
11	水	建国記念の日	読書週間	
12	木	代表委員会	読書週間	
13	金		読書週間	
14	土			
15	日			
16	月	クラブ活動		
17	火	新1年生半日入学・入学説明会 給食終了後 13:20頃 完全下校 ※5年生新1年生誘導のため 14:00頃下校		
18	水	児童集会 読み聞かせ(教職員)		卓球・バレー・ボール・陸上 (お別れ試合) 青い鳥
19	木	シェイクアウト訓練		
20	金	第3回漢字名人大会		
21	土			
22	日			
23	月	天皇誕生日		
24	火	4年生牛ヶ瀬保育園との交流 10:30～		
25	水	育成学級科学センター学習(午前) 6年生校外学習 にこにこタイム		バスケットボール・青い鳥・サッカー・陸上
26	木	卒業をお祝いする会(なかよし学級・4校合同 9:30～) 4年生桂川園との交流		
27	金	スキルアップデー 5時間授業		
28	土			

3月

- 3日(火)～5日(木) 作品展
- 4日(水) 参観・懇談会
- 12日(木) 部活動閉講式
- 19日(木) 給食終了
- 23日(月) 卒業証書授与式
- 24日(火) 修了式
- 30日(月) 離任式

部活動お別れ試合・発表会予定

- 2月18日(水) : 陸上・卓球・バレー・ボール
- 3月 6日(金) : 青い鳥(3・4年へ昼休み発表)
- 9日(月) : 青い鳥(1・2年へ昼休み発表)
- 10日(火) : 青い鳥(5・6年へ昼休み発表)
- 11日(水) : サッカー・バスケットボール

1月学校生活のようす

3学期始業式

1月7日(水)全校児童が集まって気持ちよく新年のあいさつをしました。校長より冬休み中にあった箱根駅伝や高校ラグビーの話題、これから行われる冬季五輪、サッカーワールドカップ等紹介されました。今年は午年ということもあり、色々なことに恐れず挑戦してほしいという思いから「情熱創進」という言葉を伝え、今の自分をよりよくしていこうと呼びかけられました。



児童会 あいさつ運動

1月8日(木)~14日(水)児童会の本部役員や代表委員会の児童が、8時より正門に集まり、元気な声で「おはようございます」とあいさつ運動に取り組みました。子ども同士のあいさつで、元気に教室へ向かうことができました。



演劇鑑賞教室

1月28日(水)6年生は、ロームシアター京都において演劇鑑賞教室に参加しました。演目は劇団四季「こころの劇場」ファミリーミュージカル「王子と少年」です。演劇を通して信じることや真実を伝えることの大切さなど考える時間となりました。



児童集会

1月30日(金)児童集会を行いました。本部委員から2、3月の月目標が発表されました。月目標は「みんなが主役 プロジェクトで笑顔あふれる学校にしよう」です。クラスで笑顔あふれる取組を考え、実践していきます。他にもたくさんの委員会が学校よりよくしていくための企画を発表されました。楽しみですね。



プレジョイント・ジョイントプログラム

1月13日・14日にジョイント・プレジョイントプログラムに取り組みました。4年生は日頃の単元テストとは異なり、問題文や設問内容もレベルアップした問題に取り組みました。5・6年生は自分の力を試す大切なテストです。自分の学力が今どの位置にあるのか確かめることができます。結果をもとに、自身の課題の確認、今後の学習の参考にしていただけたらと思います。



わくわく WORK LAND

1月27日(火)5年生は仕事体験学習としてわくわくWORK LANDに行きました。市役所、京都銀行や辻利など、配属された部署で役割を与えられ、他校の児童と協力して業務を行いました。会社をよりよくするためにどんなことが提案できるのか、そんなことも話し合いながら、1日に社会人として過ごしました。社会人として大切なことを生活に活かしていってほしいと思います。



避難訓練(地震)

1月29日(木)に地震を想定した避難訓練をおこないました。阪神淡路大震災から31年がたちます。この間にも多くの巨大地震が起こっています。いつ起こるかわからないからこそ、日々の訓練を大切にしていきたいですね。ご家庭でも地震が起きた時の対応など、お話ししていただけたらと思います。



茶道体験教室

1月30日(金)6年生が茶道を体験しました。社会科で学習した室町時代の文化にふれ、日本の伝統文化にふれました。今もなお、受け継がれている茶道について学ぶことができました。





行事予定



京キッズ会議事後交流会 2月2日(月)

2月2日(月)に、京キッズ会議事後オンライン交流会を行います。6年生の代表児童が意見交流をします。夏の京キッズ会議を経て、話し合ったことをいかして、これまで活動してくれていました。今回「京キッズ会議 事後交流会」で川岡東小の取組を発表してくれます。



計算名人大会 2月3日(火)



漢字名人大会 2月20日(金)

今年度最後の計算名人大会と漢字名人大会があります。1年間の集大成として、取り組んできた力を発揮してほしいともいます。

小さな巨匠展 2月5日(木)

なかよし学級は小さな巨匠展鑑賞のため、京都市美術館別館へ行きます。他校の友達の作品もたくさん展示されます。たくさんの作品を見て楽しんでください。



京キッズRUN 2月8日(日)

2月8日(日)たけびしスタジアムで行われます。6年生各学校の代表の選手たちが集まり1000mのタイムトライアルを行います。本校も男女6名の選手が出場予定です。川岡東小の代表チームです。自分の力を振り絞って頑張ってきてほしいです。応援よろしくお願ひいたします。



校外学習 6年 2月26日(水)

6年生の校外学習は、関西サイクルスポーツセンターに行きます。雨天の場合は海遊館に行く予定です。日程の都合や、旅行会社とのすり合わせなど、近年はオーバーツーリズム影響で、天候にかかわらず校外学習を実施します。今までの学習を生かして、学年のみんなでつながりを深めたり楽しい時間を作ったりできればと思います。当日は、お弁当が必要ですので、ご準備よろしくお願ひいたします。

給食週間 2月2日～6日

いつもおいしい給食を作ってくれている給食調理員さんに感謝の気持ちを込めて毎年、給食ありがとうカードを一人ずつ書いています。子ども達の好きな給食のアンケートではプリプリ中華炒めやカレーとなっています。給食週間中は、食材が届くまでのビデオも視聴し、給食ができるまでの仕組みを勉強します。



音楽鑑賞教室 2月4日(水)

5年生は音楽鑑賞教室のため、京都コンサートホールにて京都市交響楽団の演奏を鑑賞します。当日は、午後からの鑑賞ですが、給食開始前には出発しますので、お弁当が必要になりますのでご準備よろしくお願ひいたします。



読書週間 2月10日～21日

読書週間中は、読書bingoや先生方からの読聞かせ、読書ボランティアのおひさまのみなさんの読聞かせ、池地先生(司書教諭)の読み聞かせなど文字に接する機会がぐっと増えます。この世界にしぶりと浸ることができればと思います。また、読書100冊読んだ子どもたちには、賞状がもらえます。

半日入学・入学説明会 2月17日(火)

来年度入学の新1年生が来校し、小学校の生活を体験します。保護者の方は入学説明会を行います。現5年生児童は、当日、新1年生を教室まで案内する役割を担ってもらいます。そのため、5年生を除く児童は、13:20完全下校となります。

2月より放課後の完全下校の時刻が16:30に戻りますが、安全に気を付けて過ごせるようにしましょう。

(2月～10月末)



<生活習慣の見直しについてご協力よろしくお願ひいたします>

生活チェックについて、保護者のみなさまにコメントいただきありがとうございました。3学期も元気な姿がたくさん見られ、学校生活もスムーズに戻れる児童がたくさんいました。ただ、中には、夜遅くまで起きている児童がいるようです。寒さが厳しい時でもあり、遅刻する児童が増えてきております。時間に余裕がないとつい忘れ物をしたり、焦ることで冷静な判断ができなくなったり、睡眠不足により体の調子が悪い子も見受けられます。決められた時刻に就寝し、睡眠時間を確保し、余裕を持って朝の準備ができるように、ご家庭でもご指導、ご助言をよろしくお願ひいたします。

<京都はぐくみ憲章>

京都市では、「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例(京都はぐくみ憲章)」において、毎年2月5日を「憲章の日」として定め、地域や社会の宝として大切に育む「はぐくみ文化」が息づくまちづくりを進めています。大人は子どもの可能性を信じ、自らの育つ力を大切にして子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが大切です。

～市民ぐるみ、地域ぐるみで子どものはぐくみを～

